



特集 市民活動の広報の 基本とWEB

市民活動にとって、広報はとても大切です。どんなに意味のある活動をしていても、誰も知らなくては、会員（参加者）を増やすことも、イベントに来てもらうこともできません。「こんなに素晴らしいことをしているのだから、チラシを配っただけで大勢の方が参加してくれる」わけではないことは、しばらく活動してみれば身に染みてわかってきます。企業にとってのコマーシャルと同様、活動と広報は車の両輪のようなものとも言えます。

では、どんな広報の手段があるのでしょうか。基本のキから、ちょっとだけ「レベルの高い」広報まで、いろいろ考えてみました。

◆チラシ・ポスターを作る・配る

会を作って活動を始めた時や、イベントを開催するときなどにまず思いつくのは、チラシやポスターで宣伝すること。では、どんなところでどうやって配るか、ですが、

【公共施設】

公民館：市内 11 か所（中央公民館 1、地区館 10）中央公民館に行き、カウンターで配布を申し込む。全 11 館に配布してくれる。

地域センター：市内 19 か所。市役所 1 階右手の市民協働・男女参画推進課に行き、配布をお願いする。

そのほかの公的施設：市民活動支援センターあすびあ：チラシ・ポスターを持参して交流スペースに掲示を依頼する。（原則登録団体だが、市民活動の広報であればほぼ「配架・掲示」可能）

【民間の施設】スーパー、いきつけの医者・歯医者、美容院・床屋、行きつけのカフェなど。チラシを持参し、頼んでみる。仲間や友人の家の扉や所属している自治会・町内会の掲示板など。

【メディア】新聞社のイベント欄に掲載を申し込む。全国紙だけでなく、地域のミニコミも有効。

◆Webを使った広報

スマホが急速に普及して、インターネットで情報をタイムリーに発信することができます。スマホやパソコンを使用して広報する手段を記載します。

【SNS】下記の SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は人と人がつながり交流するコミュニティ型のサービスであり、情報を拡散させることに適しています。

- ・Facebook ページ（フェイスブック）基本的に実名で登録 <https://www.facebook.com/pages/creation/>
- ・Twitter（ツイッター）最大 140 文字の制限 <https://twitter.com/>
- ・Instagram（インスタグラム）写真の加工ができる <https://www.instagram.com/>
- ・YouTube（ユーチューブ）動画の配信ができる <https://www.youtube.com/>

【ブログ】ブログは伝えたい情報を詳しく掲載して、情報を蓄積していくことに適しています。ブログは日記のようなもので下記が有名です。デザインはテンプレート（ひな形）で決められています。

- ・Ameba（アメーバ）アメブロとして人気があり利用者が多い <https://www.ameba.jp/>
- ・livedoor（ライブドア）テンプレートが豊富 <https://blog.livedoor.com/guide/>

【ホームページ】ホームページはいろいろな情報を分類して蓄積することができ、Google や Yahoo!などの検索エンジンにヒットしやすくなります。ホームページの作成ツールとしては下記があります。デザインはブログに比べて自由に決められるので個性的なページを制作することができます。

- ・WordPress（ワードプレス）広く普及しているが管理が難しい <https://ja.wordpress.org/>
- ・Google サイト（グーグル）直感的に操作できる <https://sites.google.com/>（Google アカウント必要）
- ・Wix（ウィックス）機能は豊富だが操作がやや難しい <https://ja.wix.com/>
- ・Jimdo（ジンドゥー）自由度はあまり高くないが操作が簡単 <https://jp.jimdo.com/>

【メールマガジン】メールマガジン（メルマガ）は購読希望者を募集してイベント、知識、ノウハウなどをメールで一斉に配信します。メルマガは個人のメールに直接届けるので、メルマガを定期的に配信すると読者に団体の情報への注意を喚起することができます。

【QR コード】スマホで QR コード(Quick Response)の読み取りが普及しています。QR コードはホームページの URL、メールアドレス、電話番号、地図情報などを簡単に作成でき、スマホからすばやくアクセスできるようになります。

まとめ

1. Web を使った広報は、各手段に一長一短があり、複数の手段を連携すると効果的。
SNS でイベント告知を簡潔に投稿、拡散力と即効力を活用→リンクを貼ってホームページやブログへ誘導→団体プロフィール、活動実績などの詳細な情報提供→閲覧者から団体への信頼を獲得→参加申込につながる。
2. ホームページからも SNS へリンクを貼るとアクセスが広がります。
3. 文章主体のメルマガからもホームページへリンクを貼って誘導すると良いです。
4. 紙のチラシやポスターには、ホームページのイベント申込の URL、メールアドレス、電話番号の QR コード掲載するとスマホで申込がしやすくなります。
5. Web を使った広報では、日頃の情報更新が閲覧数を高めていくことにつながります。

（文責：佐藤、伊藤）